大國魂神社氏子青年崇敬会　会報誌

令和７年10月１日　第４号



会長挨拶

滝島康裕

会員の皆様、氏子崇敬者の皆様におかれましては日頃より当会の活動にご理解ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。昨年、令和六年十月に行われました定時総会では関係者の皆様にご参集いただき和やかに開催することができました。令和六年度の活動につきましては慎重に開催の是非を見極めながら、予定した活動を実施することができました。

さて、当会活動の一つに「新規事業」がございます。本年は府中市の子供たちと武隈部屋に相撲見学に行き、その後靖国神社を正式参拝して参りました。大國魂神社には四三六回の開催を誇る八朔相撲祭がございます。府中の子供たちがこの企画を通して国技である相撲に興味を持っていただき八朔相撲祭が子供たちを通して盛り上がってくれますよう祈念して企画いたしました。また本年は戦後八十周年の節目の年でもあります。当時のことを知り体験された方もどんどん少なくなってしまう中、私たちの祖父、曾祖父の世代の方がどれだけ大変な思いをして、私たちの世代にバトンを渡してくれたのかを敬い、感謝し、勉強して次の世代に伝えてゆかなければいけない義務だと感じております。

これまで支えてくださった皆様に感謝するとともに、奉仕活動を通して日本文化の継承、次世代の担い手の育成、そして地域に貢献することをテーマに活動を深め参ります。これからもご指導のほどよろしくお願いいたします。

事業報告

軍艦多摩慰霊祭

令和七年十月二十五日、慰霊碑前にて斎行された軍艦多摩戦歿者慰霊祭に参列しました。

軍艦多摩は大正十年に軽巡洋艦として竣工され、艦内神社には大國魂大神が祀られていました。各地で活躍しましたが昭和十九年十月二十五日のフィリピン沖海戦で沈没しました。

沈没して七十年となる平成二十六年に、当会を中心として軍艦多摩顕彰会が組織され、慰霊碑を建立いたしました。以降毎年慰霊祭が斎行されています。

戦後八十年となる今年は靖国神社へ参拝し、御霊の安らかなお眠りと今日の平和と繁栄に感謝と敬意をお伝え致しました。

これからも御霊の声なき声に耳を傾け、慰霊顕彰を続けていきたいと思っております。



新穀献米



令和六年十二月十四日に、全国氏子青年協議会のもと行われる神宮新穀献米奉納事業に当会からも新穀を奉納させていただきました。

本年は本宿町にて収穫された新穀を奉納いたしました。府中の方々が丹精込めて栽培し収穫された農作物、農業に携わる皆様に、心より感謝の思いを込めて奉納させていただきました。

本年も無事に伊勢神宮を参拝することができ、大神様のご加護を賜われる行事になったと思います。これからも様々な事業を通じていろいろな文化に触れ、伝統の継承に務めてまいりたいと思います。

甘酒・新年参拝

甘酒事業は年末年始（十二月三十一日～一月二日）に執り行われる事業で通年事業の中でも重要な事業となっております。また、地域の様々な方々から酒粕や調理器材、備品等ご支援ご協力を頂いております。境内随神門横にテントを張り各地区全員で交代しながら朝八時から十七時程まで甘酒販売をしております。その横では振舞い酒を行っておりまして、こちらのお酒は東京都酒造組合から神社に寄付を頂いたお酒で主に東京都の地酒を振舞います。

また、震災、災害などで被災した神社へ支援をする為に募金活動も行っております。今年度も皆様からお預かりした募金は能登半島地震によって被災された能登国総社に寄付をさせて頂きました。改めまして、皆様のご協力、温かいお気持ちに心から感謝を申し上げます。



萬燈大会



萬燈大会は大國魂神社例大祭期間中（四月三十日から五月六日）の五月四日に大鳥居前で執り行われます。

萬燈は柱、盛花、上バレン、行灯、岩、下バレン、顔隠し、手隠しと八つの部材を組み立て作製され重さは四十キロから五十キロになります。萬燈大会では各青年会が出来栄えと振り方を競います。当会では盛花をけやき並木通りにある、源義家の銅像に致しました。源義家は戦勝祈願成就の報賽として、けやきの苗一〇〇〇本を大國魂神社に奉納したことが、けや



き並木のはじまりと伝えられています。花の色は美しいけやき並木をイメージし、手隠しは南側から鳥居向けてイメージした写真です。萬燈は地域の歴史や文化、自然の美しさを表現したものであり、私たちの萬燈も、源義家と大國魂神社とのゆかりや、けやき並木の成り立ちを大切にしています。

大会を通して、先人への敬意と地域の誇りを次世代へと伝えていけるよう、心を込めて制作・振り込みに臨みました。

茅の輪奉納

茅の輪部会では、例年六月中旬頃に茅の輪を制作し中雀門前に奉納しています。茅の輪とは、千茅を束ねて輪にし竹の支柱で頑丈に固定して立たせたものです。その中を、八の字を描くようにくぐる茅の輪くぐりは、年始めから半年の罪穢れを祓い、夏以降の半年を新たな気持ちで迎えるための神事です。

制作に必要な材料の千茅と竹は、当会の活動にご理解頂いた方などのご協力で採取させて頂いております。制作には当会の会員やゆかりのある企業様にご協力頂いております。この活動が始動した当会発足間もない頃から、このような方々の支えにより現在に至るまで毎年制作を続けてこられました。技術の継承や企画は簡単ではないですが、参加者全員で協力して前年より立派な茅の輪を作ろうと制作に励んでいます。

六月三十日に行われました大祓式には過去最多の一般の方の参列がありました。茅の輪制作を、今後も何十年、何百年と継続し、大國魂神社を訪れる方々に喜んで頂けるよう会員相互協力しながら活動を続けて行きたいと思っています。





すももも祭

夏の風物詩として、多くの人々より親しまれている『すももも祭』は毎年七月二十日に斎行されます。

その起源は源頼義・義家父子が、奥州安倍氏平定（前九年の役）途中、大國魂神社に戦勝祈願をし、戦に勝ち凱旋の帰途、戦勝御礼詣りのため、この祭が起こりました。その際神饌の一つとして李子（すももも）を供え、境内にすもも市がたつようになったのがこの祭りの名前の由来です。

当会では、すももシロップを用いたかき氷の販売を行っております。準備の段階から大勢の会員の皆さまに協力をして頂いて当日の出店ができております。



忠魂碑清掃・府中市戦歿者慰霊祭

忠魂碑清掃奉仕活動では、毎年九月二十四日に府中市戦没者慰霊祭が斎行されるにあたり、前日の二十三日に掃き掃除と水洗いを行っています。忠魂碑には大東亜戦争での郷土出征戦没兵士の忠魂が祀られています。

忠魂碑の高さは六・五二メートルあるので高所作業車や高圧洗浄機を使用して作業をしていきます。今回も皆様のご協力により綺麗に清掃する事ができました。今後も慰霊の思いを込めて継続していきたい事業です。

武隈部屋見学

今年は新規事業として相撲部屋にて見学、子供達は体験をしてきました。この事業を行おうと決めたいきさつとしましては、靖国神社で行われていた全国鎮守の森相撲大会が無くなってしまい、相撲への関わりが希薄になっている状況下で、大國魂神社には相撲場があり、また四〇〇回以上続いている八朔相撲祭が有ることから、子供から大人まで多くの方に相撲に興味や関心をもって貰い、八朔相撲祭への協力や参加する子供達を増やしたいという思いから計画しました。



今回は大田区雪が谷にある武隈部屋に大人三十一名子供十一名で伺いましたが、間近で見る練習風景には見入ってしまう迫力と気迫、こちらまで力が入ってしまい息をのむような真剣さを肌で感じました。しかし、練習後の小学生の体験では思わず笑顔がこぼれるような優しい対応で子供達にも良い経験になったのではないかと思います。また、最後にちゃんこをご馳走になり普段力士達が食べているものを頂くことでより親近感も湧き、力士達を応援していきたいと思いました。武隈親方と力士の皆さんには大勢での参加に対応してくださり感謝いたします。



今後も日本の国技である相撲への関心をより深め、また関わっていけるように、来年度以降もどのような事を企画したら多くの人に参加して貰えるか、そしてそれらを八朔相撲へと繋げていけるか楽しみな事業ができたなと実感することができました。

令和八年度活動予定

十月　総会
　　軍艦多摩戦歿者慰霊祭参列
十一月　新嘗祭参列
十二月　神宮新穀献米奉納
　　PR活動（甘酒奉仕）
　　一月二日まで
一月　新年正式参拝
二月　節分祭参列・警護奉仕
　　祈年祭参列
五月　萬燈大会参加
　　例大祭参列
六月　茅の輪奉納
　　大祓式参列
七月　PR活動
　　（すもも祭奉仕）
八月　八朔相撲祭参加・助成
九月　忠魂碑清掃
　　府中市戦歿者慰霊祭参列
毎月一日・一五日　月次祭参列
奇数月最終日曜日　境内清掃
随時　役員会・理事会

入会のご案内

昔より、武蔵の国の平穏と繁栄をつかさどる、大國魂大神をおまつりする大國魂神社を中心として、青年の力を結集し、神社の伝統ある行事を守り後世に伝える活動、地域の発展・福祉の活動、会員相互の親睦をはかる活動など社会に貢献するために活動しております。多くの青年の方に、伝統文化の継承をしていただきたく呼びかけをしています。

・年会費
　一般会員（一名）　二、〇〇〇円
　夫婦会員（二名）　三、〇〇〇円
・年齢　十八歳以上

※入会をご希望の方は社務所までお越しいただくか電話にてご連絡下さいますようお願いいたします。
電話：〇四二―三六二―二一三〇
（大國魂神社社務所）

大國魂神社氏子青年崇敬会 発行／郵便番号 183-0023 ／東京都府中市宮町 3-1 ／電話 042-362-2130 ／ https://ujisei.ookunitamajinja.or.jp